

# 議会だより しらおか Shiraoka



P 2 平成 30 年度 一般会計 決算

P 4 平成 30 年度 特別会計 決算

P 6 条 例

P 8 令和 元 年度 補正予算

P 9 一般質問

P 17 議員研修会報告

P 18 委員会活動報告

P 20 審議結果

こもれびの森まつり  
今年は11月16日(土)です。

※表紙のテーマは「まつり」です。

## No.205

2019.11.1

白岡市のホームページでも議会の情報が見られます。 <http://www.city.shiraoka.lg.jp/gikai/>



## 《9月定例会》

8月29日から9月25日までの28日間にわたり定例議会が開かれ、報告1件、市長提出議案27件、議員修正議案1件を審議・可決・認定しました。

### 一般会計

#### ●● 主な事業 ●●

- ☆小・中学校空調設備整備事業
- ☆アクティブシニア活躍支援事業
- ☆子育て世代包括支援センター事業
- ☆労働者住宅資金貸付事業
- ☆生涯学習センター維持管理事業
- ☆民間保育所整備推進事業
- ☆白岡西部産業団地企業誘致推進奨励事業

### 地域振興課

**問** 地域公共交通サービスについて、運転免許証の自主返納者支援を実施しているが、運転免許証自主返納者の人数は。

**答** 141人である。

**問** 国際交流の中で、外国人の労働者対策として、国は大胆に予算を組み、対策をしているが、市にはどのような形で表れてきているのか。

**答** 具体的に国や県から示されているものはなく、予算レベルでも同様である。制度改正に伴う情報提供はあるが、具体的な事業内容の伴うものはきていない。

### 市民課

**問** マイナンバー制度が始まってから3年半ぐらい経つが、マイナンバーカードの発行状況は。

**答** 7月31日現在、申請7,550件、交付件数6,480件、交付率約12.3%となっている。



平成30年度  
一般会計決算

# 市の事業を チェック 税

歳入…158億3,779万9,005円 差引額…7億4,924万2,563円  
 歳出…150億8,855万6,442円

※差引額には、令和元年度への繰越事業が含まれています。



### 商工観光課

**問** 白岡市住宅リフォーム資金補助事業について、1件当たりの補助内容はどのようになっているのか。

**答** 1件当たり、補助対象経費の5%、10万円を上限としている。

また、36件の補助に対して、施工業者は9業者、工事内容については、外装、内装、トイレ、浴室、台所の改修工事が主な内容となっている。

### 教育委員会

**問** 教育委員会で把握している本市のいじめの件数と、いじめ防止対策推進委員会に上げられたいじめの件数は何件か。

**答** 平成30年度に報告を受けた件数は、小学校58件、中学校27件の計85件である。そのうち、いじめ防止対策推進委員会に上げられたものはない。

### 環境課

**問** 危険な空家は、何件把握しているのか。危険な空家の内部の実態は、把握できていないのか。

**答** 市内で把握している危険な空家は、9件である。危険な空家は、内部に入ることが難しいため、樹木や外壁の状態など、外見で判断している。

### 秘書広報課

**問** 市公式ホームページについて、市民目線では、まだ情報を探しづらいと感じる。今後どのように改善を図っていくか。

**答** 今後はホームページのスマートフォン対応について検討していきたい。しかしながら、県ではホームページを含む電算システムの統一化の動きもあるようなので、その動きも注視していきたい。



市公式ホームページ

**問** 市長への手紙がホームページに公開されるまでの期間は、もう少し短縮できないか。

**答** 市長への手紙は、回答まで2週間程度、ホームページへの公開まで1か月程度時間を頂いている。期間の短縮については、検討課題としたい。

### 総括質疑

**問** 教育振興費雇用保険で追徴金が発生した原因と詳細を伺う。

**答** 29年度に任用した臨時職員につき、社会保険及び雇用保険の適用を受けないものとして任用したが、週20時間以上の勤務となる月が見受けられたため29年度にさかのぼり加入する必要が生じた。昨年12月に雇用保険の適用手続きを行ったものである。



### 一般会計全般に対し

#### 反対討論

消費税は低所得者に負担の重い税です。10%への引き上げは、廃止または引き下げるよう国に働きかけるべき。また、マイナンバー制度の普及は低水準にも関わらず、暴挙ともいえる国の進め方を止めさせるべきです。

#### 賛成討論

歳入は昨年並みであります。税務課職員の努力が認められます。歳出は社会保障全般に力を入れていると評価できます。また、都市基盤の整備についても、良好な市街地の形成に向けて事業推進が図られています。限られた予算で十分な成果を上げていると認められます。



## 国民健康保険

**問** 保健事業で特定健康診査の対象者が9,022人に対して、受診者が2,722人は少ないのではないか。

**答** 受診率については、前年度と比較して26.9%から30.2%に上昇しており、今後も受診率の向上につなげたい。

**問** 団塊の世代の退職に伴い、国民健康保険事業の負担増が見込まれるが、これからの3年間をどのように考えるか。

**答** 国民健康保険事業の運営は厳しいものがあるが、国民健康保険事業は30年度から都道府県化されており、埼玉県が運営主体なので運営に支障はないものと捉えている。

**問** 不納欠損額が5900万円(29年度)から9900万円(30年度)へと大きく増加しているが、なぜか。

**答** 増え続けている滞納整理案件に対し、納税緩和措置の適用が適当と考えられる案件について、積極的に滞納処分の執行停止に取り組んだ結果である。

### 反対討論

30年度から県と市の共同事業としての運営になりました。しかし、これを機会に市の保険税は大幅に引き上げられ、さらに、多子世帯の負担が重くなりました。このような内容を改善するには、国に制度改善を働きかけるとともに、当面は繰入金を増額すべきです。

### 賛成討論

国民健康保険は国民皆保険を堅持するため、30年度から運営が県単位となりました。本決算は市民が健康維持のため、適正な予算執行がなされたものと認められます。よって、本案に賛成します。



## 後期高齢者医療

### 反対討論

この制度は高齢者の医療費削減を目的に作られたもので、75歳以上の方々を別建ての保険制度に加入させるものです。運営主体が県の広域連合となっているため市民や議会の意向は反映しにくく、滞納による保険証取り上げのおそれもあり廃止すべきです。

### 賛成討論

歳入につきましては、口座振替の促進や電話催告等、保険料の徴収努力がなされていて、歳出につきましても、後期高齢者医療制度への財源を適正に支出しています。よって本決算は後期高齢者医療制度に基づき適正な執行がなされたものと認められます。



## 介護保険

**問** 介護認定審査会の委員は何名か。また、何回開催されたのか。

**答** 介護認定審査会は5合議体で23名である。30年度は164回開催した。

### 反対討論

高齢者に対する介護サービスを一体的、効率的に提供し、社会全体で支える制度として出発しました。しかし制度改正が行われ、昨年8月から現役並み所得のある人は利用料が3割負担となりました。国が介護保険に対する責任を果たし、制度の改善を図るべきです。

### 賛成討論

高齢者の介護を社会全体で支える仕組みとして平成12年度に発足しました。少子高齢化が進み、介護費用の増加が懸念されるなど仕組みの改善が求められますが、市民にとって有効なものとなるよう努力していると認められ、賛成するものです。

## 農業集落排水

**問** 人口動態を見ていると、利用者が減少している現状で、今後ますます負担増が懸念されるが、いかがか。

**答** 次年度からの公営企業会計化に伴い、資産状況を把握、分析することにより、財政の健全化を目指す。

## 公共下水道

**問** 白岡工業団地の下水道整備はいつ頃から実施するのか。

**答** 今年度、基本設計を実施している。次年度以降、区間を定めながら詳細設計、工事を進めていく。

### 反対討論

この事業は、市街化区域内の住環境整備、河川の浄化を目的に進められている事業で、今年度は西地区の公共下水道雨水幹線築造工事等を行いました。しかし、利用する市民に受益者負担金を課したり、都市計画税の賦課等の二重負担は問題です。

### 賛成討論

公共下水道の整備は、快適な生活環境の改善のみならず、河川等の公共用水域の水質保全を図るための基盤的な公共施設のひとつです。厳しい財政状況ではありますが、今後も着実に公共下水道の整備が図られるよう賛成します。

## 野牛・高岩土地区画整理

**問** 保留地の処分状況はいかがか。

**答** 一般保留地については全て売却済みである。また、特別保留地について処分率は約97%である。

## 白岡駅東部中央土地区画整理

**問** 執行率が低く見受けられるが。

**答** 繰越明許費繰越額が含まれているため、執行率が低くなっていると考えている。

## 水道事業

### 反対討論

本年度の水道事業は、給水人口が減少し、給水栓が増加するという結果になりました。有収率は前年より大幅に減少し、この改善は急務です。経理の状況は安定的に運用されていますが、水道料へ消費税10%を転嫁することには反対です。

### 賛成討論

水道事業は、市民に安全で安心な水道水を供給するための重要な事業であり、計画的に推進されています。経理状況は安定的に適切に運用されており、市民のライフライン構築のため、各施設・設備も適切に管理・運営されています。よって本案に賛成します。

## <平成30年度 特別会計 決算>

区分		歳入	歳出	差引額
特別会計	国民健康保険	53億 1993万 1千円	48億 8364万 7千円	4億 3628万 4千円
	後期高齢者医療	6億 2678万 1千円	6億 1962万 7千円	715万 4千円
	介護保険	33億 7180万 9千円	32億 5840万 6千円	1億 1340万 3千円
	農業集落排水	8265万 3千円	7784万 3千円	480万 9千円
	公共下水道	12億 1578万 7千円	11億 9941万円	1637万 6千円
	区画整理			
	野牛・高岩	829万 6千円	564万 2千円	265万 4千円
	白岡駅東部中央	2億 3492万 1千円	1億 9573万円	3919万 1千円

水道事業会計 (消費税を含む)	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
	11億 3106万円	9億 6656万 2千円	3215万 4千円	3億 1589万 8千円

※千円未満を四捨五入しているため、差引額が一致していない場合があります。

## 条 例

### 学童保育所条例の一部改正

原案は、学童保育料を2千円引き上げ月額9千円にするものと、篠津第三児童クラブを増設するものです。

文教厚生常任委員会にて可決すべきものとされましたが、本会議にて動議が出され、篠津第三児童クラブの増設は認めるが、2千円の引き上げは白紙とする修正案が出されました。

議論の末、修正案が可決されました。

**問** 他の多子世帯減免も検討したうえで、2人目以降は7千円としたのか。

**答** 公の施設の利用料という考えから一律の保育料を設定した。しかし、家庭の負担を考慮し、2人以上入所している場合の軽減策として、2人目以降は7千円とした。

**問** 2千円の増額に対応できず、利用をあきらめ、保護されない子どもが出てくる心配があるが、どう考えるか。

**答** 市町村民税所得割課税額77,100円以下の世帯の一部まで、現行の減免制度の中で対応できると考える。利用者の実情に応じて、真摯に対応していく。

**問** 幼児教育・保育の無償化が始まる時期であり、なぜこのタイミングでの値上げなのか。

**答** 幼児教育・保育の無償化は少子化対策としての効果は考えられるが、学童保育料は国の考え方に基づき負担いただいている。5人に1人という利用であり、ご負担をお願いしたい。

**問** 値上げはやむを得ないが、保育の質は絶対に確保するということを保証してほしい。

**答** 保育の質が重要ということは認識している。そのための人材確保に努めるとともに、保育の質の維持・充実に努めてまいりたい。

※上記の問答は、原案に対するものです。

### 原案賛成討論（修正案反対）

28年度に指定管理に移行した時、費用が約3倍になり、従前の学童の運営から質・量とも安定した運営に変わった。使用料はこの時に上げるべきであった。また、児童福祉審議会発案時に市民に理解を求めるべきであった。受益者負担の観点から賛成します。

### 原案反対討論（修正案賛成）

学童保育料2千円の値上げ案は、①事前に利用者への説明がない②白岡市児童福祉審議会答申「高学年が入所を控える懸念」に対応していない③負担比率は国が軽く市や利用者が重い④篠津第三児童クラブの開設案も含まれる提案の仕方にも問題があり反対します。

### 修正案反対討論（原案賛成）

市の学童保育所の運営は、入所対象児童を小学6年生まで拡充するなど所要の努力がなされている。今後も学童保育のサービスを維持するためには必要な改定であると考えてるので、修正案には反対です。

### 修正案反対討論（原案賛成）

平成6年以降、市では学童保育料の見直しがなく、受益者負担の適正化による公平性の確保が必要であり、引き上げを先延ばしすることは待機児童の解消や子育て支援政策の取組を減速させる要因になりかねないので、修正案には反対します。

### 修正動議とは

本会議にて審議される議案(原案)の内容に賛成できない部分がある場合、その部分を議会の意思で改めることを議案の修正という。修正された議案(修正案)を修正動議という形式で提出することで、審議の対象となり採決まで行われる。具体的には、本会議中に議長から動議発言の許可を得て、動議の内容(修正案)を説明する。賛成者がいれば動議は成立し、修正案について審議される。その後、まず修正案から採決が行われ、修正案が可決されれば修正部分以外の原案について採決が行われる。修正案が否決されれば、改めて原案の採決が行われる。

## 印鑑条例の一部改正

旧氏(旧姓)での印鑑登録ができるように定めるとともに、性的少数者に配慮し、男女の別を削除し、その他必要な文言整理を行いました。

委員会において、男女の別を削除しない修正案が委員より提出されましたが、採決の結果、否決されました。

**問** 提案理由に記載されていない部分が改正されている。本来記載すべきでないか。

**答** 性的少数者に配慮し、印鑑登録原票に登録する事項から「男女の別」を削除する。総合振興計画でも、人権の尊重の中で「LGBTなど様々な人権問題に正しい理解と認識を深め、差別意識を解消するため、あらゆる場や機会を捉えた人権教育を推進する」としている。本来、提案理由に記載すべきであったが、こちらの重要性の認識が欠けていた。

**問** 憲法第24条では、両性と記載されており、これは男と女を前提としている。憲法に反しているのではないか。

**答** 印鑑証明から性別を削除することについては、総務省からの通知により、性同一性障害、性的指向、性自認に配慮して、印鑑登録証明書に男女の別を記載しない取り扱いとして差し支えないとされている。県内の7割近くの市町が対応している。

**問** 介護の減免申請書など、他の公的な申請書の見直しについてはいかがか。

**答** 市全体の方針については、庁内会議において説明し、今後現状を把握するための調査等を実施していく予定である。法的に出来ない、あるいは記載が必要なものもあるので、性別情報が必ずしも必要でない場合は削除する。性別ごとの統計情報が必要な場合は、回答しない選択肢を設ける等で見直しを進めていく。

## 成年被後見人等への不当な権利の制限を撤廃する条例改正

消防団員に係る成年被後見人等の欠格条項の規定を削るとともに、所要の改正を行うものです。また、地方公務員法の一部改正により、地方公務員に係る成年被後見人等の欠格条項の規定が削られたことに伴い、関係する条文の文言整理を行います。

排水設備指定工事店の指定基準及び責任技術者の登録資格に係る欠格条項について、それぞれ「成年被後見人若しくは被保佐人」を「心身の故障によりその業務を適正に行うことができないもの」に改めます。児童福祉法の一部改正により、養育里親及び養子縁組里親に係る成年被後見人等の欠格条項の規定が削られたことに伴い、関係する条文の文言整理を行います。

**問** 消防団員に係る成年被後見人及び被保佐人の欠格条項を削ることは、その方々も消防団員になれるということである。消防団の活動は、判断能力や体力が求められるが、どのように考えるか。

**答** 今回の改正の趣旨は、成年被後見人等であることを理由に不当に差別されないよう、権利の制限に係る措置の適正化を図るものであり、その者を個別に判断して任用するため、運用が大きく変わるわけではない。

**問** 他の条例で欠格条項の規定を削っているが、下水道条例の一部を「心身の故障によりその業務を適正に行うことができないもの」に改める理由は。

**答** 今回の改正は、成年被後見人の欠格条項を定めているものを削るものであるが、下水道条例では、その方々が業務を行うのに適正かどうか判断する必要があることから、改めるものである。



## 令和元年度 一般会計補正予算

今回の補正予算は、予算総額に1億6755万4千円を追加し、総額を144億3225万6千円とするものです。

歳入の主なものは、幼児教育・保育無償化事業に伴う、国・県の負担金などです。

歳出の主なものは、幼児教育・保育無償化事業と危険な交差点への車止めポール等の設置に伴う費用です。

**問** 西小学校の一部改修等に伴う小学校施設設備維持管理事業への526万5千円の増額につき、西小学校の児童数が増加しているとのことであるが、具体的にどの学年が増加しているのか。

**答** 2年度にかけては2年生の学級数が増える予定であるが、それ以外にも学区内において開発行為が多く行われているため、全体的に増加傾向にある。

**問** 新1年生への就学援助事業の支給対象人数は何人か。

**答** 予算上、30人を見込んでいる。過去4年間の支給実績を踏まえ、最も人数が多かった30年度の支給人数（24人）の2割増で算出した。

**問** 交通安全施設設置事業の工事箇所は、点検等を実施したうえで危険箇所を抽出していると思うが、全部で何箇所を予定しているのか。また、今年度は何箇所実施するのか。

**答** 14箇所を予定している。また、今年度は5箇所を予定している。

**問** 日常における道路の安全性の確認はどのように行っているのか。

**答** 市民や行政区からの情報提供や道路課職員が現場に出る際にパトロールを兼ねて危険箇所の把握に努めている。また、市職員からの情報提供もお願いしている。



## 令和元年度 特別会計補正予算

### 国民健康保険

今回の補正予算は、予算総額に4億2628万4千円を追加し、総額を52億419万5千円とするものです。

**問** 国民健康保険財政調整基金について、現在（補正後）の残高はいくらか。また、どれくらいの残高が理想か。

**答** 補正後の残高は約2億9400万円である。なお、30年度末の残高である3億2000万円前後が理想と考えている。

### 介護保険

今回の補正予算は、予算総額に1億1489万円を追加し、総額を31億7917万4千円とするものです。

**問** 地域リハビリテーション派遣事業について、地域包括支援センターを通じて行うのか。

**答** 市に派遣依頼の申請をいただき、決定した後、市が理学療法士を派遣している。

**問** 介護給付費等準備基金にはどのくらい積み立てる予定なのか。

**答** 現在残高が約3億9千万円あり、30年度から2年度までに、基金から2億円を取り崩して給付費に充てる予定になっている。

### 公共下水道

今回の補正予算は、予算総額に491万1千円を追加し、総額を12億3966万7千円とするものです。

**問** 防災用マンホールトイレ整備事業がなぜ560万円も不足したのか。

**答** 水洗用の水について、プール等の水の活用を検討しているが、災害時、プールが使用できない恐れも想定し、各施設に防災用の井戸を掘ることとしたものです。

# Q&A

## 一般質問

# 市政のそこが聞きたい!

9月定例議会の一般質問は、16名の議員が37項目について行いました。

### ◆遠藤 誠 議員

- 人口減少と世帯数の増について
- コミュニティ・スクールと教育委員の選任について
- 第3局(市民)の仲長つまり「自治」こそ市の発展ではないか
- 地域支援事業の進捗について ○パース(透視図)について

### ◆野々口真由美 議員

- 新白岡駅周辺の開発及び発展について
- 保育所待機児童問題について

### ◆松本栄一 議員

- 小学校の教科担任制導入について
- ふるさと納税の今後について

### ◆大島 勉 議員

- 梨のまちしらおかとして ○市道の歩道整備の現状は

### ◆菱沼あゆ美 議員

- 防災の向上について ○読み書き支援の推進について

### ◆中村匡志 議員

- 道路財源・子育て財源の充実について
- 小中学校の通学路や保育園等の散歩コース、その他生活道路の安全確保について

### ◆関口昌男 議員

- 人事院勧告と市役所に働く労働者の給与改定について
- 会計年度任用職員制度の導入について
- 学童保育の長期休み入所時の給食の導入について

### ◆斎藤信治 議員

- 子どもの貧困対策を問う
- 困難を抱えた子どもを守るために

### ◆石原富子 議員

- 小中学校学区の見直しは
- 地域包括ケアシステムの活用は

### ◆中川幸廣 議員

- 広域行政について ○新知事誕生と白岡市との関係について

### ◆加藤一生 議員

- 地域公共交通及び既存交通機関の改善について
- 市職員の労務管理におけるコンプライアンスについて

### ◆藤井栄一郎 議員

- 防災行政用無線の運用について
- 都市計画道路等の整備促進について

### ◆渡辺聡一郎 議員

- 公共交通の改善策と今後について
- 子育て世代に選ばれる街になるために
- 学童保育料の値上げについて

### ◆中山廣子 議員

- 高齢者・障がい者の使用済み紙おむつ等無料収集について
- 市立図書館の現状と利用等について
- 都市公園の樹木について

### ◆江原浩之 議員

- 白岡駅西口線及び白岡駅西口駅前広場について
- 旧庁舎解体に伴う跡地利用について

### ◆山崎巨裕 議員

- 市役所連絡所の拡充について

※ 1人につき2項目までを要約して掲載しています。



遠藤 誠 議員  
(清明会)

## 問 社会福祉協議会は民間機関なのか

社協やシルバー人材センター、観光協会は官庁ではなく民間色が強く発想が柔軟なことが肝要ではないか。幹部職員が市役所のOBであることはマイナスでは。市職員の再就職先とすることで市にとって失うものが多すぎるのではないか。

## 答 それぞれの法人の視点から採用している

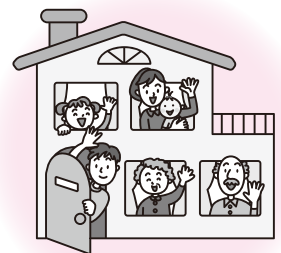
各法人・団体は、地域活動の重要な役割を担っており、市のまちづくりと密接な関係を有し、補完的役割を担っている。採用に当たっては、それぞれの団体の視点から市内の状況を熟知し、当該法人・団体の事業に精通している方が任用されていると理解している。

## 問 人口減少と世帯数の大幅増について伺う

前年対比142人の人口減、逆に前々年対比では548世帯の増である。市長はある会の総会で、人口減だが世帯は増とあたかも前者が後者を埋め合わせるようなあいさつをした。本当なのか。このような分析では政策はあやういのではないか。

## 答 定住促進等の施策の立案を行っていく

世帯数の増加は、高齢者の単身世帯のほか、未婚化・晩婚化の進展による単身世帯や、夫婦のみの世帯の増加等が要因であると考えられる。今後の人口動向や社会構造の変化等を的確に捉え、定住促進等の施策の立案を行っていく。





**問** 新白岡駅周辺の  
開発及び発展は

新白岡駅前の市有地について売却ではなく他の目的で利活用はできないか。また、新白岡エリアを開発した当初の目的と街づくりの計画を何うとともに、市の入口となる駅前の開発について、今後の新白岡エリアの発展と合わせて何う。

**答** 暮らしやすいまちとなる  
よう努めていく

売却は、土地を有効活用するための選択肢の一つと考えている。当初は、市北部の新たな拠点として位置づけられていた。今後は、市全体のバランスに配慮しつつ、やすらぎの拠点として都市基盤の整備更新など、住環境の更なる向上に向けた取組をしていく。



野々口眞由美 議員  
(TSUNAGU)

**問** 保育園待機児童問題を  
何う

保育料無償化に伴い待機児童の増加が心配される。また、入所した者勝ちを解消すべく、3歳児だけでも通所している方も含め、審査をしてはどうか。さらに、障害を有する子どもへの保育所対応について何う。住民に寄り添った心ある対応を求む。

**答** 公平な入所対応と  
待機児童対策を進める

待機児童解消のため、保育所整備を推進しつつ、公平な入所調整を実施し、国が示すとおり、児童の健全な発達を促すために一貫した継続的な環境で保育する。障害児の受入れは、民間では公定価格の面から対応が難しいため、市立での受入れの充実に努める。



**問** 小学校の教科担任制の  
導入は

小学校高学年では、音楽科、家庭科など一部の教科で教科担任制を実施している。来年度から5・6年生の英語が教科となるが、教科担任制への対応は。また、全教科での担任制は、教員の専門性の有効活用、負担軽減にも有効と考えるが、当市の検討状況は。

**答** よりよい学習環境の  
整備を検討する

小学校の英語教科化の対応として、中学校英語免許を有する教員を1名配置している。全教科の担任制は多くの教員を配置する必要があり、本市単独の対応は難しい。今後は、国や県の動向を注視しながら、よりよい学習の環境整備が図られるよう検討していく。



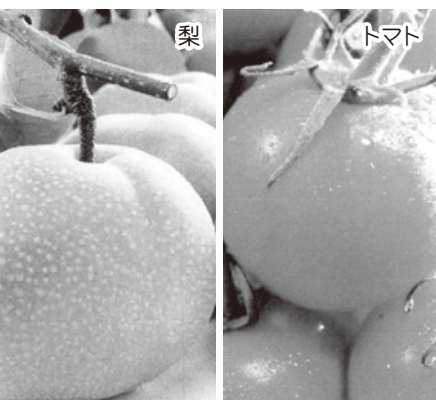
松本栄一 議員  
(創政会)

**問** ふるさと納税の  
今後は

当市のふるさと納税は、28年度の約9260万円を最高に毎年減少しているが、その要因は。今後、寄附の申し込みを増やす方策として、複数の運営会社の活用や新たな返礼品の開発等が挙げられるが、どのように進めていくのか。

**答** 委託企業などと連携し  
寄附拡大に努める

寄附減少の要因は、総務省通知により返礼品割合を引き下げたことや全国的に参加自治体が増加したこと等が考えられる。寄附拡大に向けて、複数のポータルサイト活用の検証を行うとともに事業を委託している企業や関係部署と新たな返礼品の開発に努める。



市の返礼品例



大島 勉 議員  
(創政会)

**問** 市民にやさしい歩道を

現在、市内の歩道整備はどうなっているか。高齢者や障がいのある方等が歩行する場合、現在ある歩道で地割れしたり、雑草に覆われて危険な箇所が散見される。市民にやさしい歩道とはどのようなものとお考えか伺う。

**答** 快適で安全な歩行空間を確保していく

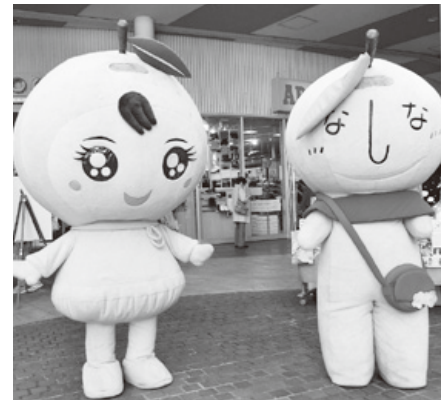
歩道の整備について、当市では国や県における公共施設の整備基準に基づき工事を実施している。今後も、路面や構造物の状況を確認し、安全で安心な環境が確保できるよう努めていく。

**問** 梨のまち白岡として

当市では、梨をイメージしたマスコットキャラクター「なしべえ・なしりん」があるが、どう活用されているか。また、白岡美人プロジェクトはどう進んでいるか。白岡の梨をPRするために、マスコットキャラクター等、今後どのように活用していくのか。

**答** キャラクターを活用したPR活動を行う

イベント参加やテレビ出演、イラスト活用等により、特産品のPR等を行っている。白岡美人プロジェクトはPR活動用ロゴマークやのぼり旗等を制作し、今後、戦略策定に向け実行委員会を設置する。今後もマスコットキャラクターを活用したPRを行う。



イベント中のなしりん・なしべえ



菱沼あゆ美 議員  
(公明党)

**問** 視覚障がい者や高齢者へ読み書き支援を

視覚障がいや弱視、高齢で読み書きが困難な人たちがいる。個人情報扱いや、点字の翻訳等の多様なニーズに対応した、窓口での代読や代筆サービスが合理的配慮として必然である。市の職員等が、専門的な研修を受けて応じていくようにしてはどうか。

**答** 視覚障がいの方々への配慮に努めていく

市の窓口対応については、日ごろから職員が代筆や代読が行えるよう声掛けするなど視覚障がいの方々への配慮に努めている。また、障害者差別解消法に基づく職員対応要領を遵守し、窓口のサービス向上・充実を図っていく。

**問** 自主防災組織100%で防災力向上へ

自主防災組織が未設置の行政区はいくつか。100%を目指し、積極的に推進すべきではないか。また、避難行動要支援者の個別避難計画を、地域と福祉担当者が連携をして、作ってはどうか。その計画を生かした福祉的な避難訓練が必要だが、どうするのか。

**答** 組織化へ向けて積極的に働きかけていく

全45行政区のうち15行政区で未設置となっており、組織化に向けて積極的な働きかけを行っていく。また、避難行動要支援者の個別計画は、地域の協力を得ながら策定を進めており、個別計画を活用した避難訓練は、市の総合防災訓練での実施を検討していく。



**問** 子育て財源・道路財源の充実を

国と地方が一体となって子育て支援に取り組む中、学童保育の保育料値上げには賛同できない。側溝蓋架け等道路の整備に関しても、市民の皆様の要望の処理が遅れている状況だ。これらの問題を抜本的に解決するための財源の充実につき、具体的な方策を伺う。

**答** 基盤整備を進め、税収の増加を図りたい

市では、従来、土地区画整理事業を積極的に推進してきた。今後、都市基盤整備を進め、地価の上昇や、定住人口の増加を図り、税収に還元させることで、財源の充実を図っていく。



中村匡志 議員  
(創政会)

**問** 保育園散歩コースや通学路の安全確保を

大津市のような悲惨な交通事故を防止するためには、保育園の散歩コースや小中学校の通学路を把握した上で、ガードレールや車止めポールなどの安全対策を行う必要があるが、現状は。また、通学路での連れ去り防止のためには、登下校通知システムが必要では。

**答** 散歩コースや通学路の安全確保に努める

小中学校の通学路で歩行者が多い交差点5か所について、交通安全施設設置の予算を計上した。今後は、保育園等の散歩コースについても危険箇所への交通安全施設の設置に努めていく。見守り活動の充実を図りつつ、登下校通知システムの研究にも努める。



登下校通知システム

**問** 人事院勧告と市役所労働者の給与改善は

今年の人事院勧告は8月7日に行われた。また、県の最低賃金改定の公示は30日に行われ、いずれも前年に引き続き改善の内容だ。正規・非正規を問わず、全ての働く者が意欲的に働き続けるには勧告等の内容を誠実に実行することが必要ではないか。

**答** 適切な措置を講じていきたい

市行政の運営にあたり、全ての職員が能力を十分に発揮し、高い士気を持って勤務できる働きやすい環境づくりを行うことは、必要不可欠である。国や他の地方公共団体の動向を注視しつつ、職員の適正な処遇を確保するため、適切な措置を講じていきたい。



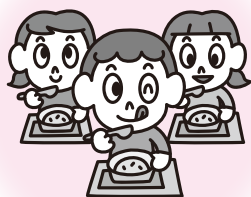
関口昌男 議員  
(日本共産党)

**問** 学童保育所長期休み入所時の給食導入は

学童保育を利用する保護者から、長期休みの入所時には、給食を実施して欲しいという要望が出ている。その場合、いくつかの検討されなければならない課題はあるが、学校の給食施設を利用した提供が理想かと思うが前向きな検討はできないか。

**答** 給食は難しい弁当の宅配を検討中

学校の給食施設を利用した給食の提供は、提供食数が少ないことから、1食あたりの単価が割高になることのほか、給食用設備のメンテナンスを長期休みに行っているため、現状では難しいと考えている。なお、学童保育所では、弁当の宅配について検討中である。





齋藤信治 議員  
(TSUNAGU)

**問** 貧困対策計画の策定予定は

子どもの貧困対策の推進に関する法律の一部が改正され、市町村でも貧困対策計画の策定が義務付けられた。貧困等の困難を抱えた子どもの実態を把握すること。当事者である子どもの声を聴くこと。その上で、貧困対策計画を策定するべきではないか。

**答** 国及び県の計画を参考に策定していく

貧困対策を推進するためには、貧困にある子どもの早期発見が重要である。支援相談員や、さわやか相談員等を配置し、日頃から子どもの声を聴いている学校や幼稚園、保育所等と連携し、実態把握に努める。また、国や県の政策を参考に計画策定を進めていく。

**問** 困難を抱えた子どもを守るために

教育委員会は、スクールソーシャルワーカーが満足のいく働きをするように、ケース会議等で状況を把握し必要な支援をしているか。また、関係者(教師・スクールカウンセラー・さわやか相談員・支援員等)間の連携が十分に取れるようにしているか。

**答** 関係機関で連携を密にし支援に努める

教育委員会では、ケース会議に出席し、状況の把握に努めている。今後は、困難を抱えた子どもについて適切な情報共有が図られるよう、スクールソーシャルワーカーに詳細な報告を求めるとともに、関係者間の連携を密にし、よりよい支援に努めていく。



子供の未来は日本の未来

「子供の未来応援国民運動」のシンボルマーク



石原富子 議員  
(TSUNAGU)

**問** 篠津中学校通学区域の改善策は

市内で唯一、篠津小学校の通学区域に居住する一部の生徒が中学進学時分断してしまう。毎年、指定校変更届を出し、許可を受けなければ篠津中学校に進学できない状況に生徒も保護者も悩んでいる。新築住宅も増える当該地区の行政区の見直しも含め改善策を伺う。

**答** 指定校変更の承認基準の見直しを図る

通学区域の見直しは、地域の意見をふまへ慎重に対応する必要がある。見直しの時期にはないと考える。当該地区の指定校変更については、手続きの簡素化を含めた承認基準の見直しを予定している。通学区域の見直しに関連した行政区の見直しは予定していない。

**問** 認知症高齢者に対する取組は

超高齢社会の大きな課題の認知症は、地域や家族が正しく理解して温かく見守ることが重要だ。サポーター養成講座を小中学生に広げることや、地域ケア会議の充実や周知など、更に地域包括ケアシステムを充実させていく必要がある。今後の取組を伺う。

**答** 認知症総合支援事業の推進に努める

認知症サポーター養成講座の小中学校での開催は、授業時間数の確保などにより難しい状況がある。関係機関と連携し実施可能な範囲で取り組んでいきたい。地域ケア会議の充実を含め、認知症総合支援事業における支援体制の整備等の推進に努める。



**問** 新知事に期待することは

上田県政が終焉し、新知事の辣腕を我々県民は期待している。市長が市の行政運営における懇願などは衆議院議員のほか、知事もおられるがその関係の円滑さは感じ取りにくい。市長は新知事との関係を市発展のため、どのように対処し、何を期待されるか。

**答** 埼玉県の活力と賑わいの創出を期待する

新知事においては、これまでの政治経験を生かして国との連携を深め、力強いリーダーシップにより、県の活力と賑わいを創出してもらいたい。ともに地方自治の立場から、県民及び市民の福祉向上のため、また、市の持続可能な発展に向けて連携していく。



中川幸廣 議員  
(白新会)

**問** 広域行政の推進を



次年度の予算編成の時期となり予算の捻出に苦慮なされていることと考える。予算捻出の方法の一つとして広域行政による行政運営が考えられる。広域行政はややもすれば市の独自性も失われる点も考えられる。広域行政についてどのように考えられるか。

**答** 市民サービスの向上を第一に考えていく

将来にわたって市民サービスの維持・向上を図っていくためには、市町村間の連携は不可欠である。広域行政の実施に際しては、広域化のメリットやデメリットを十分に検証するとともに、市民サービスの向上を第一に考え、検討していく。

**問** 地域公共交通及び既存交通機関の改善は

(1)「白岡市のりあい交通」の更なる周知普及策として、幼稚園児から小学生までを対象にして、体験乗車会を開催する考えはあるか。(2)白岡駅西口発着の唯一の市内起点である民間路線バスの運行路をモラージュ菖蒲まで延伸するよう当該の民間バス会社に要請しては、

**答** 市民の皆様とともに発展させる

体験乗車会は、お子様からご家族などへの普及啓発の相乗効果も考えられ、今後の周知、啓発の参考にしたい。民間路線バスの延伸要望は、経費負担、市内交通事業者との協議や他自治体の公共交通との調整などの課題があるので、今後、調査・研究していく。



加藤一生 議員  
(清明会)

**問** 市職員の労務管理のコンプライアンスは



(1)コンプライアンスの2つの側面について質問する。①サービス残業を行わざるを得ないような状況はないか。②パワハラなどのハラスメント行為はないか。(2)「法令遵守」・「倫理遵守」を明白化・可視化する手始めとしてタイムレコーダーの導入検討は。

**答** 働きやすい職場づくりに努めていく

サービス残業を促すことやハラスメントの相談案件で継続中のものはない。職員の勤務時間は所属長が職員とコミュニケーションを図りながら把握しており、タイムレコーダーの導入については、職員の人数や導入費用を考慮し、当面は現行の方法で対処していく。



藤井栄一郎 議員  
(清明会)

**問** 防災行政用無線の有効活用を図るべき

毎年、全国各地で自然災害が発生し、災害規模も増大、益々防災に対し関心が高まっている。防災行政用無線の活用が市民への情報伝達手段として益々重要になっている。更なる市民への情報伝達として、白岡まつりや総合防災訓練等の告知に利用できないか伺う。

**答** 近隣の状況を踏まえ運用を判断していく

防災行政用無線は市内全域に情報を伝達する重要な通信手段であり、防災や防犯に関わる情報だけでなく行政情報も放送するものである。近隣市町の状況を踏まえ、市が実施する事業や多くの市民の参加が見込まれるイベント情報についても活用を検討していく。

**問** 白岡宮代線早期開通と市道の管理状況は

市の総合振興計画にある、都市計画道路、白岡宮代線の早期開通に向けた取組状況はどのようになっているのか。また、市道路線の危険箇所の把握や雑草等が繁茂した市道の管理状況や市制5周年記念事業で命名した5路線の管理状況について伺う。

**答** 事業の進展、適正な管理に努める

白岡宮代線は、現在橋脚本体の築造工事を進めている。今後も関係機関と連携し工事の進展に努めていく。市道の除草は業者委託や職員で対応している。道路愛称を定めた5路線については、より市民に愛着を持っていただけるよう道路環境の向上に努めていく。



工事が進む白岡宮代線



渡辺聡一郎 議員  
(創政会)

**問** 学童保育料の値上げについて市の考えは

学童保育料が値上げされるがその理由は。単に受益者負担を増やすだけでなく社会全体で子育てを支援する考えが必要では。消費税増税もあり生活への影響が懸念される。市民の視点に立って制度設計すべきと考えるが、所得や学年による減免等は検討されたのか。

**答** 受益者負担の点で適正な使用料の負担を

学童の利用希望が増え、待機も発生した。こうしたニーズに対応し、受益者負担の観点から適正な使用料の負担をお願いするという趣旨で、安定した運営を行うための改定である。既存の減免制度で対応可能と判断した。なお、子育て支援として多子減免を採用した。

**問** のりあい交通の改善と新交通の検討を

3年度の契約更新に合わせて事業の見直しを行うとのことだが、その要点は何か。特に利便性の向上や契約内容の見直しが必要と考える。また新たな公共交通（小型コミュニティバスや民間・NPOとの協働等）の可能性についても検討を始めるべきではないか。

**答** 利便性向上に重点を置いた見直しを行う

効率的な契約形態に向け、予約の不成立の解消等、利便性の向上や事業の継続性、安定性を確保した契約にできるよう、内容を引続き検討する。今後の地域公共交通は、「のりあい交通」やさまざまな施策と組み合わせ、市全体の課題として対応していく。



のりあいタクシー

**問** 市立図書館の現状と利用等は

10月1日で新図書館が開館して1周年になる。多くの方に来館していただき、図書館での時間を楽しんでもらいたい。しかし、図書館に行きたくても、さまざまな事情により行けないという話を聞く。図書館に足を運ばない方のために、宅配サービスを行ってはどうか。

**答** 3施設での取次サービスを検討していく

今年1月から、コミュニティセンター、中央公民館及び勤労者体育センターの3か所に図書返却ボックスを設置している。引き続き、先進自治体の取組を調査研究するとともに、まずはこの3か所で図書の貸出しを行う取次サービスの実施に向け、検討していく。



中山廣子 議員  
(公明党)



**問** 公園の樹木の管理とネームプレートを

市内にある31ヶ所の都市公園の管理・点検を行う上で市民等による情報提供が欠かせないと思うがいかがか。また、公園に親しみを持ってもらい、樹木を大切にす気持ちを作るために、樹木にネームプレートを付けてはどうか。

**答** 公園の維持管理に努める

職員による巡回や専門業者による遊具の点検のほか、より安心安全な公園管理のため、市民からの情報提供のしやすい仕組み作りを調査研究していく。樹木のネームプレートの設置は、公園の老朽化対策等の事業の見通しが立った段階で計画的に取り組んでいく。

**問** 白岡駅西口線及び白岡駅西口駅前広場は

白岡駅西口線及び白岡駅西口駅前広場が整備されれば、市の発展に大きな影響を与える。現在の事業認可区間の進捗状況と完了の見通しは。次に、既存道路との交差点は、どのような通行形態になるのか。白岡駅西口線と白岡駅西口駅前広場の今後の整備予定は。

**答** 安全を確保し、効率的整備に努めていく

今年度は車道部の路床置換工事等を実施し、2年度の事業完了を目指していく。事業完了後は市道120号線の通行形態が変わり、白岡駅西口線への車両の通行が禁止される。事業効果と財源等を考慮の上、3年度以降から新たな区間の事業着手に努める。



江原浩之 議員  
(無所属)



解体予定の旧庁舎

**問** 旧庁舎解体に伴う跡地利用は

旧庁舎は、老朽化等の理由から早期に撤去を望んできた。具体的に旧庁舎解体工事の進捗状況及び解体工事後の土地利用形態は。次に、シルバー人材センター利用者の駐車スペースを確保すべきと考えるが、市はどのように考えているのか。

**答** 当分の間、駐車場用地として利用したい

一般競争入札により落札された事業者と契約に向けた事務手続きを進めている。跡地は駅に近いことなどから、当分の間、駐車場用地として利用したい。中央公民館及びシルバー人材センター利用者への対応方法は、駐車場の運営方法と併せて検討したい。



山崎巨裕 議員  
(日本共産党)

**問** 大山・新白岡に  
市役所連絡所の設置を

白岡駅西口の市役所連絡所は白岡駅近隣の地域住民にとって利便性が高い。しかし、大山・新白岡地域には連絡所がなくこの利便性は享受できない。同じ白岡市民でありながら格差が生じている。連絡所の設置は地域の活性化にもつながると思うがいかがか。

**答** 利便性向上の方策を  
調査・研究していく

証明書等の郵送による発行や休日開庁等のほか、市民が身近な場所で気軽に手続きが行えるよう利便性の向上につながる方策を調査・研究していく。地域の活性化は、市民活動が活発になるようソフト面でのサポートを行い、市民の主体的な活動を支援していく。



**県4区議長会議員研修会**

7月31日 蓮田市

～議員が守るべき政治倫理について～

株式会社地方議会総合研究所代表取締役廣瀬和彦氏を講師に迎え、「議員が守るべき政治倫理について」をテーマに講演していただきました。

「政治倫理」とは、政治にかかわる者の行動規範のことを指します。ご存じの通り私たち議員は、その地位を利用した不正行為等を法で禁止されています。

しかし、公共事業での贈収賄事件やセクハラ・パワハラが問題となるケースも多く見られ、あらためて政治倫理というものを考える必要があるとのことでした。

特にセクハラやパワハラは、本人にそのつもりが無くても相手が不快に感じたら、それはハラスメント行為になります。

私たちは選挙により市民の皆さまの代表として、市政運営に携わらせていただいております。議員として学ぶべき政治倫理を再認識し、議員であることの職責の重さに、あらためて身が引き締まる研修でした。



**議会日誌**

**8月**

- 6・7日 県4区議長会議長視察研修会及び議長会
- 19・20日 総務常任委員会の行政視察
- 23日 議会運営委員会
- 29日 第4回議会定例会

**9月**

- 2日 第4回議会定例会
- 3日 第4回議会定例会
- 4日 第4回議会定例会  
全員協議会

議会運営委員会

- 6日 第4回議会定例会  
議会広報常任委員会
- 10日 総務常任委員会
- 11日 文教厚生常任委員会
- 12日 産業建設常任委員会
- 13日 総務常任委員会
- 17日 文教厚生常任委員会
- 18日 産業建設常任委員会
- 25日 議会運営委員会  
第4回議会定例会

30日 蓮田白岡衛生組合議会の定例会

**10月**

- 3日 埼玉東部消防組合議会の定例会
- 4日 議会広報常任委員会
- 16日 議会広報常任委員会
- 21日 埼玉東部消防組合議会の定例会
- 24日 全員協議会
- 28日 総務常任委員会の所管事務調査
- 29日 蓮田白岡衛生組合議会の行政視察
- 31日 文教厚生常任委員会の所管事務調査





# 委員会活動報告 先進地などへ視察調査

## 総務常任委員会

公共交通について 8月19日 静岡県富士宮市  
公共施設マネジメントについて 8月20日 静岡県焼津市

富士宮市では、公共交通の現況と今後の姿勢、動向について視察しました。同市では、民間のバスと乗り合い型タクシーと市営バスである「宮バス」との三者の相互補完体制で、市内の公共交通網を構築し運営しています。



更に「持続可能性」を重視し、利用者側である市民の自覚を促す目的を込めて「バス停オーナー制度」を導入し、オーナーとなった方にバス停の命名権を付与して協力金を頂くなど、市民参加の取り組みも行っています。

当市でも、この「市民参加」への取組を積極的に展開する必要性を感じ、今後の動きに期待します。

焼津市では、公共施設マネジメントについて視察、学習しました。同市において、築後30年から45年を経過している公共施設が多く

早急な対応が課題となっています。

そこで、「①大方針」→「②体制構築」→「③評価」→「④個別方針」→「⑤実践」の手順で対応を開始しています。市民にも、シンポジウムや広報紙等を通して、周知、理解を進めています。これらの一連の動きを通して、効率的かつ持続可能な公共施設の在り方を具体的に検討しています。

当市においても、各公共施設の更なる有効活用、公共施設跡地の次の展開等検討すべき課題があります。焼津市で学ばせていただいたように、常に具体的に検討し対応していかなければならないと考えます。同時に、市民に対して周知を徹底し、公共施設に見る当市の未来の姿に対して、市と市民が共通の理解を持つことが大切であると思います。



## 文教厚生常任委員会

小中一貫教育について 7月23日 新潟県十日町市  
図書館事業について 7月24日 長野県小布施町

十日町市では、小中一貫教育について視察しました。十日町市教育委員会では、子どもの減少、学校の小規模化が進む現状に鑑み、新しい形態としての学校「小中一貫教育」を平成26年度から実施しており、学力の向上、不登校児童生徒の減少等が図られ、スムーズに展開されていました。



小中一貫教育は、前期(小学1～4年)、中期(小学5年～中学1年)、後期(中学2～3

年)に区分され、中期に重点が置かれています。時間割も各教科や学習活動の特質に応じ、弾力的な組み替えも行っています。9年間を通して児童生徒の育ちを見つめ、考えるこの教育形態では、中学校入学に対する不安の解消や好きな授業が増える等の学校生活や学習に対する意識改善につながっていました。

一方で、保護者や地域住民を巻き込んだ小中一貫教育のさらなる推進が求められているようです。当市においても、学校の在り方や小中一貫教育の取組について、検討の余地があると考えます。

小布施町では、図書館事業について、町立図書館「まちとしょテラソ」を視察しました。誰にでも親しまれる情報サロンとして活用できる図書館の新設が待望され、平成21年7月に開館しました。



新図書館は、「テラソ百選」と題して毎月テーマを決め100冊程度の本を展示したり、ワークショップや創作活動の表現の場として活用するなどして運営されています。

また、街なかのお店や銀行等に本を並べ、そこを訪れる人が本と交流できるような「まちじゅう図書館」を16館で行っています。この活動には規約がなく、町からの補助金もないとのことで、小布施町民の自立や信頼感を感じることができました。

図書館は、こうでなければ、こうあるべき、という考えにとらわれずに、いかに楽しんでもらえるか、ということにも気を遣うことが、活気のある図書館運営につながるのではないかと考えます。

## 産業建設常任委員会

魅力ある農業の活性化のために 7月11日 鴻巣市 嵐山町

鴻巣市では5月に開催されていたポピーまつりについて視察しました。ポピー



まつりの会場は、日本一の川幅を有する荒川の河川敷を利用してあり、広大な土地に咲く色とりどりのポピーが楽しめるそうです。

もともとは不法投棄が問題となっていた河川敷を何とかしたいと始めた事業とのことでした。不法投棄を抑制する環境づくりを目指し、花(ポピー)の栽培による環境保全と負担のない監視(観光地化に伴う来場者による監視)を対策として打ち出しました。

その結果は、観光客による監視の目も働き、不法投棄の問題は改善され、さらに、ポピー栽培による農業の活性化や観光による市の盛り上がり等複数の効果が得られたとのことでした。

嵐山町では、「千年の苑」と銘打たれたラベ

ンダー園を視察しました。8万㎡もの広大な土地一面にラベンダーが咲く園内は、圧巻の一言でした。この事業区域は、大規模農家の事業縮小に伴い生じた休耕地と耕作放棄地になりかけていた周囲の農地とを、周りの農家の方の協力のもとにつなぎ合わせ準備したそうです。こちらも農業の活性化という目的の達成のみならず、観光地化による町のPR、さらにはラベンダーのオイル精製などの商品化までつながる事業になっていました。

これらの事業の良い点は、課題のある地域の改善を図りながら、更に別の効果も得られている点だと思えます。両市町とは状況は異なりますが、当市でも参考にすべき点があると考えます。当市でも、市の特色を生かし、農業の活性化につなげてまいりたいと思えます。



## 議員の 本会議欠席 について

「細井公議員の本会議欠席の件」につき以下の通り報告いたします。

8月29日 9月定例議会本会議開催日に正当な理由なく欠席。

9月 2日 本会議冒頭で本人より事情説明および謝罪。

9月 3日 複数の新聞などにより報道。

9月 4日 議長より本人に対し口頭厳重注意。

9月30日 本人から謝罪文の提出。

議会としては、本会議での謝罪をしたこと、新聞報道により社会的制裁をうけたこと、議長からの口頭厳重注意を受けたことで、これ以上の懲罰はしないこととしました。

# 《9月定例議会の審議結果》

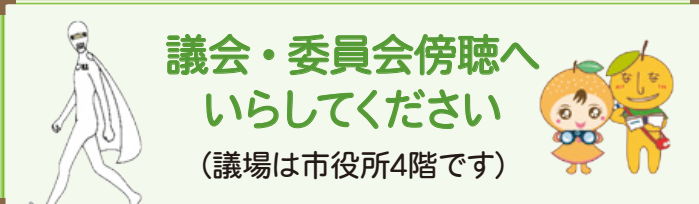
(○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席 ー：採決なし)

議席番号・議員名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	議決結果
	中村 匡志	野々口眞由美	斎藤 信治	山崎 巨裕	関口 昌男	松本 栄一	中山 廣子	菱沼あゆ美	渡辺聡一郎	加藤 一生	中川 幸廣	藤井栄一郎	細井 公	大島 勉	遠藤 誠	石原 富子	江原 浩之	井上日出巳 <sup>※2</sup>	
件名																			
平成30年度一般会計継続費精算報告書の報告 <sup>※1</sup>	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	欠	—	—	—	—	—	報告済み
固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—	適任
成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
印鑑条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
学童保育所条例の一部改正	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	×	×	○	×	—	修正案可決
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
手数料条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
給水条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
専決処分の承認(令和元年度一般会計補正予算(第2号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	承認
道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
道路線の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
令和元年度																			
一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
蓮田市計画事業野牛・高岩土地画整理事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
蓮田市計画事業白岡駅東部中央土地画整理事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
平成30年度																			
一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定
国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定
後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定
介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定
農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定
公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定
野牛・高岩土地画整理事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定
白岡駅東部中央土地画整理事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定
水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決及び認定

※1 報告議案については、報告のみの案件で、採決はありません。

※2 18番 井上日出巳議員は議長のため、採決には加わっていません。

次回の定例会は**11月28日(木)**開会予定です。



**議会・委員会傍聴へ**  
いらしてください  
(議場は市役所4階です)

**編集後記**  
9月の台風15号では、友好交流協定を締結する君津市でも甚大な被害が発生しました。衷心よりお見舞いを申し上げますとともに、被災地の皆様が一日も早く日常に戻れるようお祈りいたします。当市としては小島市長のイニシアティブで被災直後から多くの職員の皆様が災害救援に駆けつけるとともに、多くの物資を提供させていただきました。市議会としても義援金をお送りしたことを議会だよりの場を借りて報告いたします。(中村)

**9月定例議会傍聴者数**

本会議	市内126名	市外 6名	合計132名
委員会	市内 9名	市外 0名	合計 9名

**議会広報 常任委員会**

委員長	斎藤 信治	委員	山崎 巨裕
副委員長	加藤 一生	委員	中山 廣子
委員	中村 匡志	委員	中川 幸廣
委員	野々口眞由美		